

平成30年度 図書館活動評価(案) 重点事項評価

項目	平成29年度重点事項	平成29年度事業	項目	平成30年度重点事項	平成30年度事業	事業説明	【平成30年2月15日 平成29年度第2回協議会での平成29年度活動評価に対する協議会委員意見等】
1	当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。	① 貴重資料の公開	1	当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。	① 貴重資料の公開	所蔵している貴重資料を定期的にエントランスで展示する。また、貴重資料について、デジタル化・公開していく。	<p>「重点事項評価」について</p> <p>1 当市をはじめとする郷土資料に関する各種資料の収集・保存・活用に努める。</p> <p>・「② 郷土資料の充実」は、冊数の問題からすれば評価は「B」だろうが、収集や保存・活用するための活動を鑑みると評価が少し低いのではないかな。</p> <p>・「④ 歴史公文書」について、活動の成果がこちらからはあまり見えていない。市役所内部と文書資料室が連携して収集し、内部公開を前提としているのだろうが、そこは評価を下げる必要はないが、やはり本庁や支所での意識をどこまで定着させるかが課題ではないかな。</p> <p>・「⑤ 長岡市災害復興文庫」については毎年良くやっていると思う。そのため評価も「AA」でよいのではないかな。</p> <p>2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。</p> <p>・庁内行政支援レファレンスについて、今年度の13件というのは多いとは言えない。これも図書館の問題と言うよりは本庁や支所の方でこのサービスの認識が不十分ではないかな。困った時は図書館にアプローチするというのがまだまだ浸透しきっていないのだと思う。</p> <p>3 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。</p> <p>・図書館においても、障がい者のための施設整備の他に、LGBTや外国人の利用に関しても検討が必要だと思う。</p> <p>4 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。</p> <p>・まちぼん事業については、2か所だけでなく他の場所も増やしてほしい。</p> <p>5 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。</p> <p>・内部評価のとおりとする。</p> <p>6 子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。</p> <p>・「① 第二次長岡市子ども読書活動推進計画」の策定については、教育、子育て関係の各課で真摯に内容を検討し、良いものが出来たと思う。</p>
		② 郷土資料の充実			② 郷土資料の充実	情報収集をして郷土資料を積極的に収集する。	
		③ 古文書等の歴史資料の収集・保存・活用			③ 古文書等の歴史資料の収集・保存・活用	古文書等の歴史資料の目録を作成し、公開して市民の利用に供する。	
		④ 歴史公文書の収集・保存・活用			④ 歴史公文書の収集・保存・活用	歴史公文書の目録を作成し、市役所での内部公開を検討する。	
		⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用			⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用	資料整理ボランティア等と連携して目録を作成し、長岡市の災害対応の経験・教訓を伝える記録資料として広く公開・活用する。	
2	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。	① 中高生向け図書館しごと応援事業	2	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。	① 中高生向け図書館しごと応援事業	若者しごと応援コーナーの資料の充実を図る。	<p>・「② 中高生向け図書館イベント」については、今回初めてこのイベントがあったことを知ったので、もっとPRに力を入れるべきである。このイベントのように頭を使いながら何かにチャレンジすることは図書館への興味や縁が深めるのに役立つと思う。</p> <p>・課題としてフェイスブックでの広報が少し空振りしたとあるがこれは興味深いことだ。最近の大学生は、スマホをいじりすぎて睡眠不足になっているらしい。健康を害するほど、夜遅くまでこれにはまってしまうっており、現実の本を見ない、恐らく高校生くらいまでは食い止められるのだろうが1人暮らしを始めた途端に、これにはまってしまうため問題であると感じる。大学進学や高校卒業を機に一気に自由になってしまうような部分があるため、もうすこスマホなどの扱い方を分かっているもらえれば良いと思う。</p> <p>・中高生に向けての読書推進とあるが、私がバスに乗っていると中高生はみんなスマホに夢中になっている。高齢者が近くで立っていても座席から動こうとしない。そういった光景を見ると学校も大変なんだろうと思う。雪が降っていても傘もささずにスマホを見ていて、バスが来たらいの一番に乗り込んで席に座る。そういう子どもたちに図書館に来てほしいと言っても難しいことだと思う。自分は活字の本やテレビばかり見ているが世代が違うとアプローチも大変だと思う。</p> <p>・私が住んでいる地域は図書館が無い地域なので、市の施設にはいくつか本が並んでいるが利用者はそれほど多くない。中央図書館や地域図書館が年間を通して頑張って広報活動をしていると分かったが、一方で地域間の格差も感じた。車を所持している人は多少遠くても大きな図書館を利用すると思うが、本離れというものを実感している。</p> <p>・子どもたちにもっと絵本を読んでほしいという方が、自分自身が絵本好きで収集しており、それを活かして親子ではなく大人向けにコーヒーを一杯飲みながら絵本を読むことができるスペースを作っている。子どもに絵本を読んでもらいたいと言う前に親や大人へのアプローチを行い、絵本は子どもだけのものではないという時間を作る取組をしている、そういった活動をしている方もいる。</p> <p>・子ども読書推進計画の中で、子ども家庭課が主に行っているブックスタート事業がある。これは赤ん坊が5〜7か月の時にある赤ちゃん相談の際に絵本を一冊もらえるという事業だ。周囲の母親たちに聞くと絵本をもらえるのはありがたいと聞かすが、まだ出かけることなどに慣れていない時期にそういうことをしてもちゃんと絵本を聞いていられなかったりするので、また別の機会にゆとり時間を取って本を選びたいという声も聞くので検討してもらいたい。</p>
		② 庁内行政支援レファレンス			② 庁内行政支援レファレンス	長岡市職員に図書館サービスを知ってもらい、行政の課題解決を援助する。	
		③ 子ども連れへのサービス			③ 子ども連れへのサービス	<ul style="list-style-type: none"> 中央館では、毎週金曜日の午前中に、「おやこタイム」として一般の利用者の方へ子どもたちが大きな音をたても温かく見守るよう依頼するとともに、おはなし会を実施する。 地域館では、定例のおはなし会の後、もしくは特別行事内の一部として「おやこタイム」を導入する。昨年度実施した子育て世代の利用者に向けた事業も引き続き実施する。 	
		④ 図書館の環境整備			④ 図書館の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の水銀灯をLEDに交換する。 南地域図書館の空調設備の更新工事設計委託をする。 互尊文庫のブロック塀の改修工事をする。 互尊文庫の冷却塔の冷却水配管老朽の為交換する。 西館の下水配管の詰りを修理し、けや木を1本を処分する。 	
3	市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	① 利用者アンケートの実施	3	市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	① 利用者アンケートの実施	例年どおり実施し、昨年との比較や現状の利用者の意見を把握したい。HPでのアンケートも実施する。	<p>・「② 中高生向け図書館イベント」については、今回初めてこのイベントがあったことを知ったので、もっとPRに力を入れるべきである。このイベントのように頭を使いながら何かにチャレンジすることは図書館への興味や縁が深めるのに役立つと思う。</p> <p>・課題としてフェイスブックでの広報が少し空振りしたとあるがこれは興味深いことだ。最近の大学生は、スマホをいじりすぎて睡眠不足になっているらしい。健康を害するほど、夜遅くまでこれにはまってしまうっており、現実の本を見ない、恐らく高校生くらいまでは食い止められるのだろうが1人暮らしを始めた途端に、これにはまってしまうため問題であると感じる。大学進学や高校卒業を機に一気に自由になってしまうような部分があるため、もうすこスマホなどの扱い方を分かっているもらえれば良いと思う。</p> <p>・中高生に向けての読書推進とあるが、私がバスに乗っていると中高生はみんなスマホに夢中になっている。高齢者が近くで立っていても座席から動こうとしない。そういった光景を見ると学校も大変なんだろうと思う。雪が降っていても傘もささずにスマホを見ていて、バスが来たらいの一番に乗り込んで席に座る。そういう子どもたちに図書館に来てほしいと言っても難しいことだと思う。自分は活字の本やテレビばかり見ているが世代が違うとアプローチも大変だと思う。</p> <p>・私が住んでいる地域は図書館が無い地域なので、市の施設にはいくつか本が並んでいるが利用者はそれほど多くない。中央図書館や地域図書館が年間を通して頑張って広報活動をしていると分かったが、一方で地域間の格差も感じた。車を所持している人は多少遠くても大きな図書館を利用すると思うが、本離れというものを実感している。</p> <p>・子どもたちにもっと絵本を読んでほしいという方が、自分自身が絵本好きで収集しており、それを活かして親子ではなく大人向けにコーヒーを一杯飲みながら絵本を読むことができるスペースを作っている。子どもに絵本を読んでもらいたいと言う前に親や大人へのアプローチを行い、絵本は子どもだけのものではないという時間を作る取組をしている、そういった活動をしている方もいる。</p> <p>・子ども読書推進計画の中で、子ども家庭課が主に行っているブックスタート事業がある。これは赤ん坊が5〜7か月の時にある赤ちゃん相談の際に絵本を一冊もらえるという事業だ。周囲の母親たちに聞くと絵本をもらえるのはありがたいと聞かすが、まだ出かけることなどに慣れていない時期にそういうことをしてもちゃんと絵本を聞いていられなかったりするので、また別の機会にゆとり時間を取って本を選びたいという声も聞くので検討してもらいたい。</p>
		② 友の会事業			② 友の会事業	図書館支援団体として図書館と連携し、活動を会の運営に活かす。	
		③ ご意見ポスの設置			③ ご意見ポスの設置	日々の利用者の意見を聞き、今後の業務に活かす。	
4	積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。	① 「詩人堀口大蔵と長岡」の開催【100周年イベント】	4	長岡市立図書館開館100周年を機に、より積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。	① 長岡市立図書館開館100周年記念事業	<ul style="list-style-type: none"> 以下の100周年記念事業を実施し、米百俵のまち長岡の魅力と歴史を発信するとともに、市民に愛される図書館を目指し、利用者の拡大を図る。 所蔵資料展「図書館資料にみる江戸時代の長岡」展(5/18~6/10) 「図書館開館100周年展」を併催 開館100周年記念式典(6/8) としよかんまつり(6/8~6/10) 「創業50年 長岡の自然に育まれた松岡達英」展(7/20~8/5) 記念講演会「林真理子講演会」(10/15) 図書館開館100周年記念誌の発行(3月予定) 	<p>・子どもたちにもっと絵本を読んでほしいという方が、自分自身が絵本好きで収集しており、それを活かして親子ではなく大人向けにコーヒーを一杯飲みながら絵本を読むことができるスペースを作っている。子どもに絵本を読んでもらいたいと言う前に親や大人へのアプローチを行い、絵本は子どもだけのものではないという時間を作る取組をしている、そういった活動をしている方もいる。</p> <p>・子ども読書推進計画の中で、子ども家庭課が主に行っているブックスタート事業がある。これは赤ん坊が5〜7か月の時にある赤ちゃん相談の際に絵本を一冊もらえるという事業だ。周囲の母親たちに聞くと絵本をもらえるのはありがたいと聞かすが、まだ出かけることなどに慣れていない時期にそういうことをしてもちゃんと絵本を聞いていられなかったりするので、また別の機会にゆとり時間を取って本を選びたいという声も聞くので検討してもらいたい。</p>
		② 各種機関と連携した事業の実施			② 各種機関と連携した事業の実施	まちゼミ、まちぼんなど民間機関と連携した事業や開館400年・戊辰150年にまつわる企画展など新潟県立歴史博物館をはじめとする他機関との連携事業を実施する。	
		③ 子ども読書活動推進計画関連事業の実施			③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 近隣団体・学校・地元商店街との繋がりをさらに深め、連携した事業を積極的に実施する。 	
		④ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施			④ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 近隣団体・学校・地元商店街との繋がりをさらに深め、連携した事業を積極的に実施する。 	
5	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	① 外部研修	5	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	① 外部研修	<ul style="list-style-type: none"> 県立図書館等が主催する研修に職員を参加させ、また研修で得たことを職員間で共有し、図書館職員のスキルアップをめざす。 地域館でも県立図書館主催の研修に参加するほか、TRCが企画するステップアップ研修などにスタッフを参加させ、知識やスキルが向上するよう努める。 	<p>・子どもたちにもっと絵本を読んでほしいという方が、自分自身が絵本好きで収集しており、それを活かして親子ではなく大人向けにコーヒーを一杯飲みながら絵本を読むことができるスペースを作っている。子どもに絵本を読んでもらいたいと言う前に親や大人へのアプローチを行い、絵本は子どもだけのものではないという時間を作る取組をしている、そういった活動をしている方もいる。</p> <p>・子ども読書推進計画の中で、子ども家庭課が主に行っているブックスタート事業がある。これは赤ん坊が5〜7か月の時にある赤ちゃん相談の際に絵本を一冊もらえるという事業だ。周囲の母親たちに聞くと絵本をもらえるのはありがたいと聞かすが、まだ出かけることなどに慣れていない時期にそういうことをしてもちゃんと絵本を聞いていられなかったりするので、また別の機会にゆとり時間を取って本を選びたいという声も聞くので検討してもらいたい。</p>
		② 職場内研修			② 職場内研修	<ul style="list-style-type: none"> 主に主任以上の職員が講師となり、接遇研修などの研修を行う。休館日削減のため、全員が集まる機会が取れないことが課題となっている。 地域館では例年通り、全スタッフが参加する全体研修を実施するほか、中央館との合同研修や職員研修への参加も継続して行う。 	
6	子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。	① 第二次長岡市子ども読書活動推進計画の策定	6	子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。	① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭等での子どもの読書活動推進に役立つ講座等を実施する。 保育園等へ出向いての読み聞かせボランティア「どんぐり」の活動や保護者や保育士を対象とした絵本講座を実施する。 	<p>・子どもたちにもっと絵本を読んでほしいという方が、自分自身が絵本好きで収集しており、それを活かして親子ではなく大人向けにコーヒーを一杯飲みながら絵本を読むことができるスペースを作っている。子どもに絵本を読んでもらいたいと言う前に親や大人へのアプローチを行い、絵本は子どもだけのものではないという時間を作る取組をしている、そういった活動をしている方もいる。</p> <p>・子ども読書推進計画の中で、子ども家庭課が主に行っているブックスタート事業がある。これは赤ん坊が5〜7か月の時にある赤ちゃん相談の際に絵本を一冊もらえるという事業だ。周囲の母親たちに聞くと絵本をもらえるのはありがたいと聞かすが、まだ出かけることなどに慣れていない時期にそういうことをしてもちゃんと絵本を聞いていられなかったりするので、また別の機会にゆとり時間を取って本を選びたいという声も聞くので検討してもらいたい。</p>
		② 中高生向け図書館イベントの実施			② 中高生向け図書館イベントの実施	中学生以上の若者が楽しめる図書館のイベントを実施し、図書館の利用をPRする。	
		③ 米百俵号による特別巡回の実施			③ 米百俵号による特別巡回の実施	地域イベントに出向いて米百俵号による貸出を実施し、図書館及び米百俵号のPRをする。	
		④ としよかんクリスマススペシャルコンサートの実施【100周年イベント】					